筑西市 3R 広報紙

限りある「資源」を無駄にしていませんか？

今日からはじめよう！「ごみダイエット」

3Rとは、ごみ減量化につながる３つの活動のことです。

■リデュース（Reduce）
ごみそのものを減らす

■リユース（Reuse）
何回も繰り返し使う

■リサイクル（Recycle）
資源として再利用する

発行：令和3年3月
筑西市環境市民団体連絡協議会

［問い合わせ］事務局：筑西市環境課
TEL0296-24-2130

ご存知ですか？ 筑西市のごみ事情

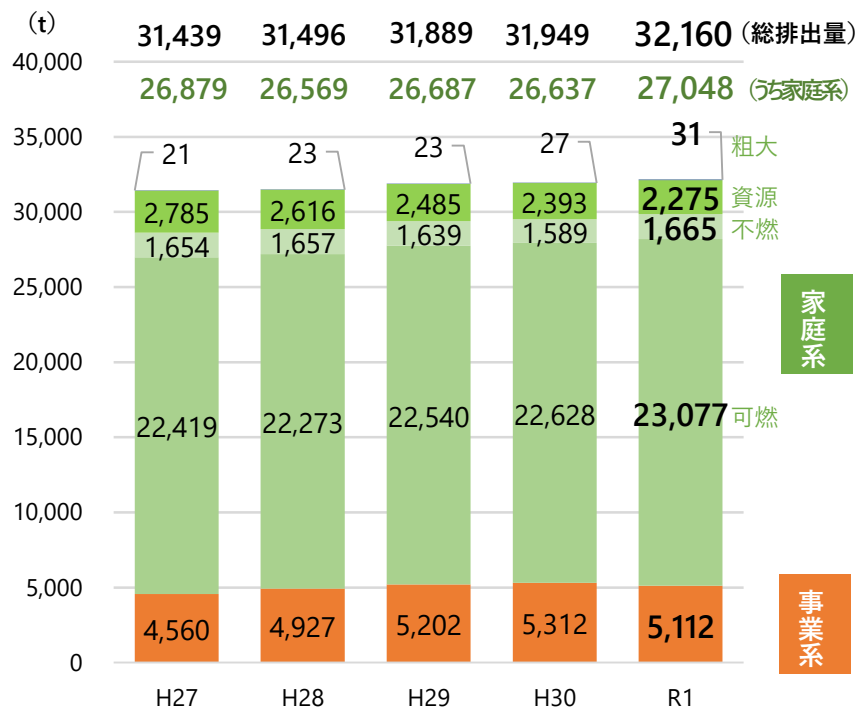
過去５年間における筑西市のごみ総排出量（家庭系ごみ、事業系ごみ）は、ほぼ横ばいで推移しています。家庭系ごみについても、同様に推移していますが、人口の減少に伴い、1人1日当たりの家庭系ごみの排出量は、増加傾向にあります。

令和元年度における家庭系ごみの約85％は燃やせる（可燃）ごみが占めており、燃やせない（不燃）ごみは約6％、資源物は約8％となっています。今後、ごみ排出量の減量を進めていくには、ごみ排出量の大部分を占める燃やせるごみを減らす取り組みが必要です。

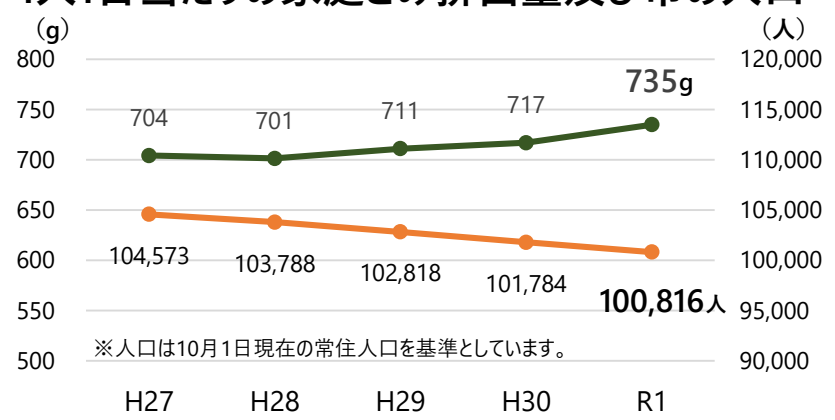
資源物（缶、びん、ペットボトル、古紙、乾電池、布類）の回収量については、平成27年度から令和元年度にかけて約18％も減少しているため、家庭系ごみに対する資源物の回収量の割合を示すリサイクル率も大幅に低下しています。

市が令和元年度に実施した「ごみ集積所の不燃ごみの排出状況実態調査」により、ごみ集積所に排出された不燃ごみの中には、約５割の資源物が混入していることがわかりました。資源の過剰消費やごみの大量排出によって生じる環境負荷は、私たちの経済活動や生活環境に悪影響を及ぼすだけでなく、将来世代にも負の遺産を残すことになります。環境負荷の少ない持続可能な循環型社会を実現していくために、一人ひとりがリサイクルに積極的に取り組み、資源を有効活用し、ごみをできるだけ少なくするように努めましょう。

ごみ排出量の推移



1人1日当たりの家庭ごみ排出量及び市の人口



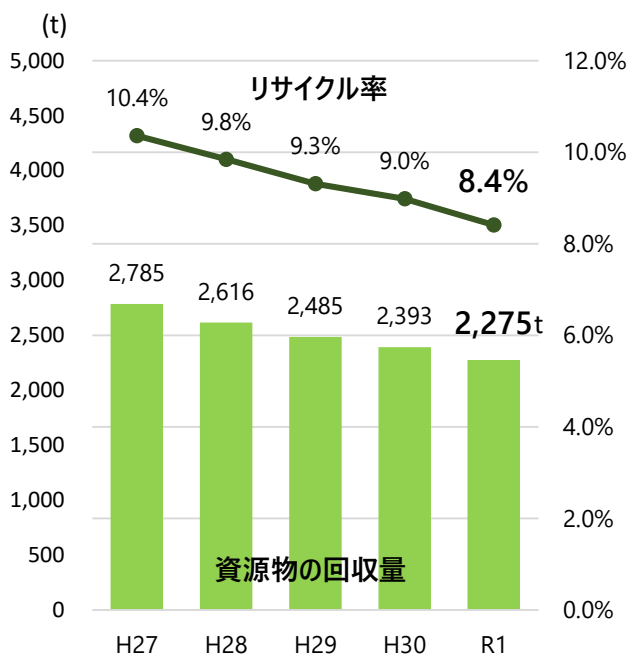
令和元年度のごみ処理経費

市全体 **約9億5,660万円**

市民１人当たり **約9,489円**

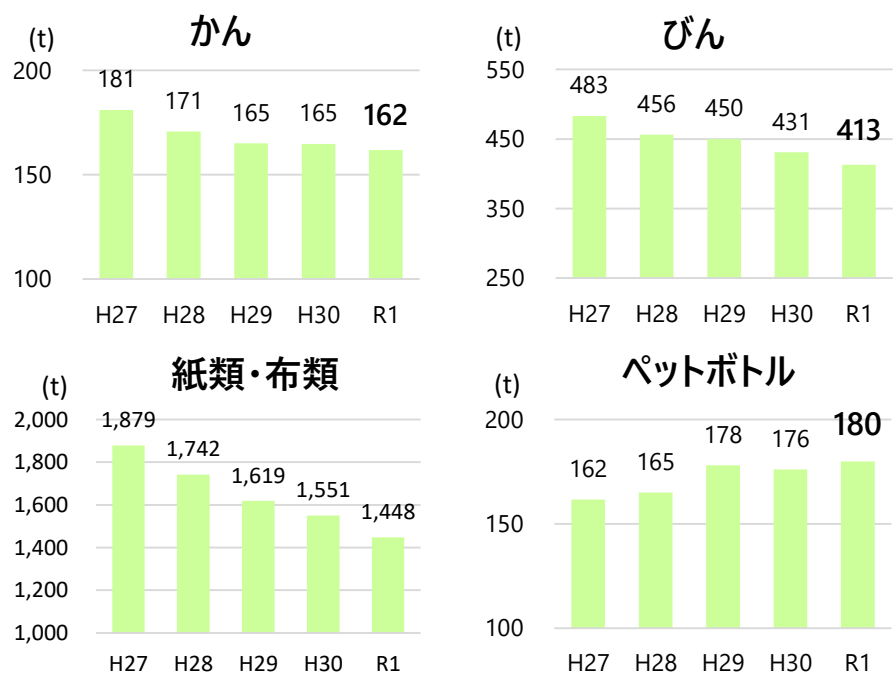
※ごみ処理経費は、収集運搬費、環境センターのごみ処理経費（分賦金）の合計額です。

資源物の回収量とリサイクル率



※リサイクル率は、「資源物÷家庭系ごみ」から算出しています。

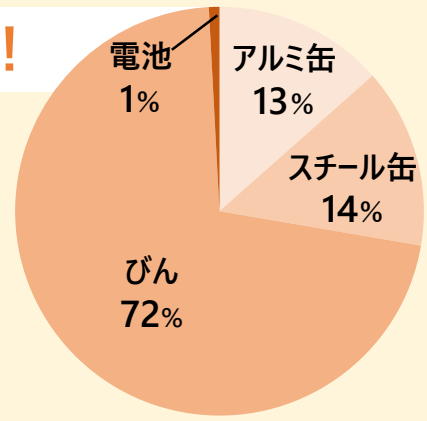
資源物の回収量は5年間で・・・ 18％減少!!



■地域で積極的にリサイクルに取り組みましょう！

ごみ集積所の不燃ごみの中には5割の資源物が混入しています!

令和元年度に実施した「ごみ集積所の不燃ごみ排出状況実態調査」により、不燃ごみの中に、約５割の資源ごみ（缶、びんなど）が混入していることがわかりました。
「分ければ資源、捨てればごみ」の意識をもって、積極的にリサイクルに取り組みましょう。



資源物の重量割合

資源物は、売却して収益金を自治会等に還元しています